

子供の成長ぶりを

渥美鉦三さん 青果業
富士見台7丁目(34歳)



私にとって子供たちの健やかな成長は何にも変えがたいものです。
我が家の2人の子供たちも、ことしで上が4歳、下が1歳になりました。姉の方はことし保育園へ入園したということもあってか、何ごとに対しても積極性が出てきました。
今までは、どちらかという内気な方でしたが、最近では妹の面倒を見たり、友達とも楽しく遊んでいる

ようです。下の子供については、1歳になったということで、何かほっとしたという感じです。

仕事の関係上、朝早く家を出て帰りが遅いという毎日ですが、仕事から帰って子供たちの寝顔を見ると、その日の疲れも忘れてしまいます。

父親として子供たちに何をしてあげているのだろうか——と、ふと考えることがあります。しかし、子供たちの成長ぶりには目を細めるばかりです。我が家にとって、ことしも大過なく過ごすことができました。

勉強の機会を与えられ

松本玲子さん 主婦
今泉(42歳)

長男は中学3年に進級し受験に、次男は小学校生活に別れを告げ新中学生に、主人は本厄を迎え健康に、とそれぞれ期待と不安と心配が交錯し、無事にこの一年を過ごせればと念じた1984年の年頭。

最初は不安と心配ばかりが先走り、我が家のペースをつかむことができませんでしたが、ようやく本来の姿



に戻り始めたきょうこの頃。

私もPTAの役員を辞し、4月から新たに社会教育委員に委嘱され、地域を中心とした社会教育活動に微力ながら力を注ぐことができました。

また、21世紀を展望したこれからのまちづくり——まちづくり会議への参加は、改めて地域を見直すことができ大変有意義でした。

ことしは、私にとっていい意味での勉強の機会を与えられ、学ぶことの大切さ、難しさを味わいながらも自分の足元を見つめた活動ができたのではと思っています。



県発明工夫展に出品の「椅子が脚立になる折りたたみ椅子」が、県知事賞を受賞

よつだかずや
四ッ田和也君

鷹岡中学校3年生

「背が低いので高い所にある物をとるとき、便利なように考えました。」と語る四ッ田君。その作品は、ふだんは椅子になつていてるけれど、部屋の中の高い物をとるときは、さつと脚立に早変わりするというものです。

「できたときはあまり見はえがしなかつたので、自信はありませんでした。」ともいいます。期待がかけられています。

とてもうれしいです。それに負けないよう新しい気持ちで頑張らなければと思います。」と話してくれました。
家は電気店を営んでいます。が、電気関係よりも木工製作の方が好きで、学校では理・数系が得意とのこと。四ッ田君の作品は、来年三月の全国大会に出品され、その評価に期待がかけられています。